



消防団たずね歩き

先輩の知恵を継承する伝統ある神出支団

●西消防団震災対応

4月13日、淡路島を震源とする震度6弱の地震があり、阪神・淡路大震災の再来かと驚愕しました。政府の地震調査委員会は、「東海・東南海・南海地震」が今後30年以内に60～70%の確率で発生すると発表しています。このような地震災害に対して、西消防団では対策本部（仮称）を設置し、管内の被害調査や連絡体制、市街地における津波被害に対する応援計画を現在検討しています。

●西消防団神出支団

西区神出町は、広大な面積を持ち、古くから文化の栄えた農村地帯で、芋堀り、ぶどう狩り等の観光農業、老人会が育てる岐阜蝶めっことんとかたこコリ、明石海峡大橋が展望できる雌岡山など、レジャーや憩いの場となる自然豊かな町です。

穴田支団長以下18班261人からなる、わが神出支団は、地域の付託にこたえるため、消火・水防活動や、ポンプ操法大会や毎月の器具点検と訓練、地域防災コミュニティの支援、運動会での心肺蘇生法などの指導、神出の里ウォーク、夏祭りなど地域活動での安全確保へ協力など、地域と連携して活動しています。

●西消防団FAST

平成5年、消防局が各1世帯に1人の市民救命士を養成する講習会を開始したことを受け、故木村元団長は、支団本部役員全員を含み救急インストラクターの資格取得を推進。本年2月に西消防団FASTを登録し、地元の高校や大学での心肺蘇生法の講習で、団員は若い学生を生き生きと指導しています。

●地元に密着した消防団めざし

日頃の災害対応や震災計画は、家族や地元、地域団体の協力、支援がなくては成し得ません。地域と連携を図りながら消防団活動にご理解をいただき、また、阪神・淡路大震災での長田管内への応援出動や長時間にわたる消火活動、食糧支援など諸先輩方が築かれた伝統を生かしながら、予測されている大震災に備え、この素敵な町が平和であることを祈りながら、日々の警備に努めていきます。
(西消防団 神出支団 副支団長 佐伯 尚)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

